

未来へつなぐ、
豊後大野市の挑戦



BUNGO ONO CITY CORPORATE ATTRACTION PROJECT

豊後大野市企業誘致推進プロジェクト



BUNGO ONO CITY

豊後大野市は、大分県の南部に位置する自然豊かな地域で、面積は約603平方キロメートル、人口約32,000人です。

2005年に三重町、清川村、緒方町、朝地町、大野町、千歳村、犬飼町の7つの町村が合併して誕生しました。

豊かな自然と恵まれた大地、文化継承などが高く評価され、九州で唯一「日本ジオパーク」と「ユネスコエコパーク」の両方に認定されています。



法人番号 4000020442127

〒879-7198 大分県豊後大野市三重町市場1200番地

☎0974-22-1001 ☎0974-22-3361

開庁時間：月～金曜日午前8時30分～午後5時15分まで
(祝日・休日・および12月29日～1月3日を除く)

🌐 <https://www.bungo-ohno.jp/>



豊後大野市 4つの強み

活断層がない

1

市内には、震源断層となる活断層は認められていません。

地震のリスクが低い地域は、住民や企業にとって魅力的な場所となります。これにより、地域の経済発展や人口増加が促進します。

水

2

豊後大野市は「大分の野菜畑」として知られる農業地帯です。一級河川である大野川及びその支流河川の豊かな水利を利用した水田地帯と県内屈指の畑作地帯を有しています。

環境

3

大分県で3番目に広い市です。市の中央には大野川が流れ、周囲はくじゅう連山や阿蘇山、祖母・傾山系の山々に囲まれています。この地域は日本ジオパークおよびユネスコエコパークに認定されており、豊かな自然環境が保護されています。

中九州横断道路

4

大分、熊本両県の都市圏を結び、地域間の交流を促進。また、沿道地域の産業発展や地域活性化にも寄与することが期待できます。

九州全体の交通ネットワークを強化し、災害時の信頼性のある道路としても機能します。

未来へつなぐ、 豊後大野市の挑戦

産業振興・ 企業誘致に向けた 豊後大野市の 取組み

- 企業様ニーズの把握と誘致条件の検討
- 個別訪問・交渉
- インフラ・住宅整備(空き家活用等)
- 工場用地の確保(遊休施設の活用・農地転用等)
- 中九州横断道路早期開通の要望
- インターナショナルスクールを含む人材育成に向けた教育環境整備
- 企業誘致に関する制度や条例の設計

優遇制度等の詳しい内容は
コチラから▼



豊後大野市HP



大分県HP



●サウナ／「おんせん県おおいた」
にありながら温泉のない豊後
大野市の大自然を生かしたアウト
ドア・サウナ(川サウナや鍾乳洞
サウナ等)を観光資源として活用
するため、2021年7月に全国で
初めて「サウナのまち」を宣言。



●スポーツツーリズム／豊後
大野市は市総合スポーツ施設を
核としたスポーツ資源や観光資
源等を活用し、スポーツ合宿・
大会・イベント等の誘致や開催
支援等に取り組んでいます。



内陸部に位置するため津波や風
水害等による自然災害のリスクが
極めて低いです。
市内に総合高校や農業大学校、専
修学校があり、若年人口が比較的
多いです。病院、スーパー、スポー
ツ施設も充実しています。



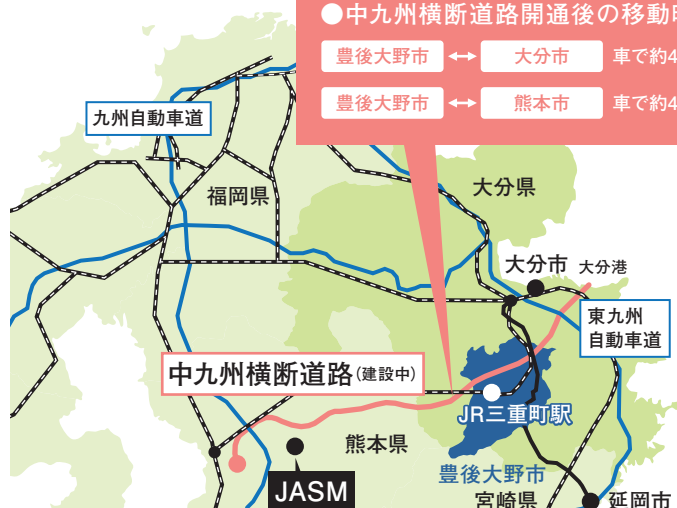
●半導体関連企業の誘致加速

道路の整備に伴い、企業の立地が進むことが予想
されます。世界的半導体企業が進出している地域を中心
に、豊かな自然と清らかな水に恵まれた豊後大野市は、
半導体産業の新たな拠点として、さらなる企業誘致が
期待されます。

●中九州横断道路開通後の移動時間

豊後大野市 ↔ 大分市 車で約45分

豊後大野市 ↔ 熊本市 車で約45分



●電力／エネルギーの地産地消を
目指すため、市営太陽光発電所の
運営や地域新電力「株式会社ぶんご
おおのエネルギー」を本市と県内企業
の官民共同で設立するなど「脱炭
素社会実現」に向けた取組を行って
きました。



中九州横断道路開通により
新たな道が、未来をつなぐ。



企業誘致により人口増加と労働生産性の向上を短期間で実現。
「持続可能な豊後大野市」を目指す。